

「第 2 回 北洋材利用に係る意見交換会」に向けて 各出席者からの事前の意見

■原木の集荷について

- ① 北洋材の安定的な輸入が必要
- ② 国産材を長期的・安定的に確保するシステムの整備が必要
- ③ 地域ごとの資源及び利用状況に応じた原木供給・利用体制の検討が必要
- ④ 近隣の県と協力して安定的な出材を行うことが必要
- ⑤ 大きな需要の変化がある場合、国産材の供給能力や蓄積量についての検討が必要
- ⑥ 効率的な原木集荷のためには、国産材用の土場の確保が必要
- ⑦ 遠隔地集荷には輸送コストの低減策が必要

■加工施設・加工技術について

- ① 製材を継続するためには樹種転換が急務。設備の変更等に伴う資金需要が見込まれる
- ② 技術開発・設備の普及・新製品の開発が必要
- ③ 樹種転換を行うためには、国産材出材量の大幅な増加が必要であり、また、それに伴う設備投資も必要
- ④ 木材研究所を通じて、乾燥技術の提供やスギの性能評価を行っている
- ⑤ 品質確保のため乾燥部門の強化が必要
- ⑥ 資源的背景を考慮し、低コスト及び高付加価値製品の加工施設の整備が必要
- ⑦ 合板の加工体制の整備、新製品（国産材を利用したコンクリート用型枠合板やフロア一台用合板）の開発が必要

■販路について

- ① 国産材合板の需要拡大が必要
- ② ヒノキ合板は西日本で需要が多い
- ③ 長期優良住宅（200年住宅構想）等への活用の促進が必要
- ④ 住宅メーカー、大工、工務店、設計士、建築技師等との連携強化、講習会等の開催が必要

■その他

- ① 地域の関係業界の連携による自主的なルール作りが必要
- ② 行政としても、適切な森林資源の管理の視点から注意が必要